

根ほり 葉ほり

生き方の素敵なあの人、今、注目のこの人に
“節度ある好奇心”をもって徹底インタビュー

やすぎぶし
安来節保存会
踊りの部師範

染谷孝夫さん（袖ヶ浦在住）



・染谷孝夫さんプロフィール

昭和17年、千葉県野田市生まれ。
マーブル自治会副会長、袖ヶ浦西小
校庶の会会員、袖ヶ浦西小・谷津南保
育所稲作り指導、袖ヶ浦西まちづくり
会議構成員、赤十字奉仕団袖ヶ浦分団
員、習志野市社会福祉協議会ボラン
ティア登録等。

毎朝、袖ヶ浦西小の登校見守りでも
活躍中。そこに行けば出会えます。
ケイタイ 090-4824-6597

おもしろいことをしながら社会に
奉仕できる定年後を求めていたら
「どじょうすくい」に出会いました。

「安来節は「どじょうすくい」でお
なじみですが、ちゃんと見たことのあ
る人は少ないのではないのでしょうか。
私は玉造温泉に行ったときたまたま
「安来節どじょうすくいシヨ」を見
る機会がありました。あの軽妙さ、す
ばらしいですね。染谷さんは出雲のこ
出身ですか

いや、私は野田市の生まれです。
ごく平均的なサラリーマン生活を経
て、60歳で定年を迎えてから
「何かおもしろいことをしながら、
かつ社会に奉仕できるようなものはな
いかな」とあちらこちら探し歩いて、
船橋にある安来節教室に出会いまし
た。

指導してくださったのは「どじょう
掬いおどり師範の部」で優勝なさって
いる棚橋保という先生です。とても厳
しい先生でした。

「腰の動きがとても難しくそうです
ね。師範になるまで何年ぐらいかっ
たのですか

腰はもちろん、腰から下の動きが踊
りの6〜7割を占めます。そして顔の
表情も大切。顔でも踊っているのです。

安来節

どじょうすくいの踊り歌（男踊り）

へおやじどこへ行く 腰に籠を下げて
前の小川へどじょう取りに

わしが生まれは 浜佐陀生まれ
朝まとうからどじょうすくい

わしの生まれは 安来の生まれ
朝ま早ようからどじょうすくい

※「安来節」には男踊りのための歌
詞、踊りがあり、女踊りは全く別
のものです。

女踊り参考歌詞

へ高い山から 谷底見れば
乙女姿のどじょうすくい

また、安来節保存会の「技術資格」
は唄、絃、鼓、踊りの四部門があります。



昇格審査は毎年行われていて、3級、
2級、1級、初段、2段、3段、準師範、
師範となります。師範の審査は安来市
の本部で行われる安来節保存会師範資
格審査です。私は稽古8年目に合格し
ました。師範になると、ひとに教える
ことができるのです。家元は代々「渡
部お糸」さんという名で、今、四代目。
一〇〇年続いている会です。

「そういうしっかりした組織があっ
て伝統が守られているのですね。踊り
に必要な七つ道具は――

ザル、ビク（魚籠）、豆しぼりの手
拭い、かすりの野良着、股引、腰当て、
穴あき古銭にヒモを通した鼻当て。

これだけです。仕度に時間はか
かりません。そして踊りは3分半。
ボランティアとして招かれると、い
ろいろなところで披露していますが、
皆さん、ほんとうに喜んでくださいま
す。女性には「女踊り」があつてこれ
もなかなかいいものです。やってみま
せんか。